

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童通所支援事業所 あおぞら		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 11日		～ 令和6年 12月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数) 35名
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 27日		～ 令和6年 12月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童や保護者のニーズ、児童の目標に応じた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> 児童や保護者のニーズを日々の支援でのやりとりやモニタリング時、送迎時の対応で伺っている。 事前カンファレンスやケースカンファレンス等を通し、児童の様子を共有、支援の検討を図っている。 各児童が安心して過ごせるよう、空間作りや個々に応じた表現方法の支援を行っている。 職員の技術向上のため、内部・外部研修を実施。研修内容を職員間で共有し支援に繋げている。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童や保護者との関係性の構築を図る。 職員間でのスムーズな共有、伝達方法を検討し全職員が適切に共有できるようにする。 全職員が共通認識できるアセスメントシート等の活用検討。 日々児童の様子把握に努め、環境作りや支援検討を行う。 技術向上のため、自主的な研修参加を促進する。
2	子どもが自己選択できるような環境を整え、自己決定する力を育むための支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 児童が意欲的に取りくめるような活動や環境設定を行っている。 発達年齢に応じ活動内容の決定、役割分担等自分達で話し合いや思案を行い、自己決定ができる場を設定している。 製作や遊び、活動を通し自己表現の場を設定している。 自己表現が難しい児童には絵カード等のアイテムの活用や選択肢の提示など個々に応じた支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の様子に応じた活動や支援方法を今後も検討し、それぞれが自己表現、自己決定できる環境設定を図る。
3	支援プログラムが固定化されないよう工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容は放課後等デイサービスガイドラインの指針を踏まえ、各児童の発達段階やクラスに合わせて立案している。 ネットや参考本等での情報収集や職員間で相談をしながら立案し、土・祝、長期休み等には、外出体験やクッキング、地域の方との交流等のイベントも企画、様々な経験ができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が楽しみながら学び経験できる機会を取り入れるために今後も活動内容を検討する。 適切な支援を図るために、各職員が専門性を養う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関との連携が十分に図れていない。	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内で連携を図る必要性について職員間で共有できていないため、取り組みを行っていない。そのため、自事業所から積極的に連携を図れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 他事業所の取り組み等を参考に、事業所内で連携への必要性、また連携をする上でのアプローチ方法等の検討を行う。
2	保護者会や保護者研修等、ご家族を主体とした取り組みができていない。	<ul style="list-style-type: none"> 児童の支援に注力しており、ご家族支援への取り組みを検討できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ご家族が求める研修や保護者会等の意向・希望調査を行う。 日々の教室に影響がなく、ご家族が参加しやすい日程・場所、また開催方法等の検討をする。 日々の児童の様子や支援内容を把握できる保護者参観や夏祭り以外の親子参加型のイベントを検討する。
3	保護者に向けて安全計画や各種マニュアル、また職員紹介等事業所の情報共有が十分に図れていない。	<ul style="list-style-type: none"> 日々の支援の中で必要だと感じる内容については、対応策を配信しているが、その他はご家族がすぐに確認できる状況になっていない。 送迎を利用している方は普段事業所に来所する機会が少ないため、事業所内のみでの設置だと把握できにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> HP記載など、ご家族が閲覧できる方法の検討を行う。 職員紹介等事業所便りを半年に1回発行する。 各種マニュアルだけでなく、現在作成している感染症時や警報発令時の対応のような要約した書面を作成する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童通所支援事業所 あおぞら

公表日 令和7年 2月 6日

利用児童数 44名

回収数 35名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32件	2件	0件	1件	・走り回る子なので、動けるスペースがほしいと思うことはありますが、限られたスペースの中でも楽しめることを考えてくださっていると感じます。	・各児童が安心して楽しく過ごせるよう配慮しておりますが、スペースの問題もあり運動等での行動制限がある状況を感じていますので、今後も限りある空間の中でもご満足いただけるような環境作りを考えていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22件	5件	2件	6件	・すみません。職員の方が何名おられるのかを分かっていません。	・事業所には職員写真を掲示しておりますが、事業所送迎の方には閲覧いただく機会が少ないと感じています。職員の入退所等があった際には案内文での伝達等の方法も検討していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32件	3件	0件	0件		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34件	1件	0件	0件		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32件	2件	0件	1件		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31件	2件	0件	2件		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34件	1件	0件	0件		
	8 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33件	2件	0件	0件		
	9 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	33件	2件	0件	0件		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30件	4件	1件	0件	・いつも楽しそうな充実したプログラムになっていて、にがてなところが訓練されているように思います	・これからも楽しみながらも苦手な所を経験できる活動等、それぞれの子どもの目標を考慮しながら子ども達が意欲的に取り組めるような活動や行事を立案していきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7件	6件	4件	18件	・事業所外の子どもと交流があるのか知りません	・現在は公園や外出等で地域の子ども達と関わる機会がありますが、特定の機関との交流はできていない状況です。必要に応じて他事業所の取り組みを参考にし職員間で検討したいと思います。
保護者 への	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33件	2件	0件	0件		
	13 「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33件	1件	0件	1件		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15件	7件	2件	11件	・情報提供があったかどうか覚えていません	・今後情報提供していきたいと思います。 ・個別の面談等で事業所での様子を踏まえたお子様への関わり方等を伝達する機会を設けていましたが、事業所内での全体研修の実施もできていない状況ですので、今後研修会の実施について提案したいと思います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	33件	2件	0件	0件		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29件	4件	0件	2件	・定期的の頻度が分からない。半年に1回ある。	・およそ半年ごとの計画更新の際には面談を設けており、常時ご家族様からの相談等も受けております。今後もご家族様から相談しやすい環境を作るよう関係性を築いていきたいです。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28件	5件	0件	1件	・未回答1件	

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14件	3件	6件	11件	・未回答1件 ・交流の機会があったかどうか覚えていません。 ・夏祭り、毎年楽しみです。いつもありがとうございます。兄弟も喜んでおります。	・父母会や保護者会等の開催は行えておりませんので、ご家族様の要望を伺いながら職員間で検討していきたいと思ひます。 ・次年度もご家族様が参加できるイベントの開催を検討し、日頃のお子様の様子把握や保護者同士の交流ができる場を設けていきたいと思ひます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27件	5件	0件	3件		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思ひますか。	33件	1件	0件	1件		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	30件	4件	0件	1件	・活動日の写真付きでの報告が、いつも楽しみです。ありがとうございます。	・これからもお子様の様子を随時お伝えできるよう写真付きの連絡配信やInstagramでの活動の様子配信等も継続し、皆様に事業所の様子を伝達できるようにいたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思ひますか。	31件	2件	0件	2件		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30件	3件	0件	2件		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26件	3件	0件	6件		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思ひますか。	32件	2件	0件	1件		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思ひますか。	27件	4件	0件	4件	・通所利用をしていて大きな怪我等もなく安心して通えています	・これからも安全計画等を随時検討し、利用している子ども達が安全に過ごせるよう日々環境作りを行っています。打ち身や擦り傷などの怪我時や友達との関係性などの点での共有事項は随時保護者様にお伝えしておりますが、気になる点等がございましたらいつでも連絡いただけると助かります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	35件	0件	0件	0件		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32件	2件	1件	0件	・顔見知りの先生や友達と学校以外で出会うということも嬉しく思っている様です。 ・本人の機嫌次第です。 ・とても楽しみにしております。いつもありがとうございます。	・子ども達がいつでも通所を楽しみにできるような事業所づくりのために、これからもそれぞれの目標やニーズを踏まえながら子ども達が意欲的に取り組めるような活動設定や環境作りを検討していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	33件	1件	1件	0件	・いつもありがとうございます。（2件） ・お金の勉強になるように、おやつを購入する日、ためとく．．．など出来るようにして欲しい。	・これからも日常生活や社会生活に繋がるような活動を取り入れ、楽しみながら学べる・経験できる機会を設けていきたいと思ひます。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童通所支援事業所 あおぞら	公表日	令和7年 2月 6日
------	----------------	-----	------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・クールダウンが必要な児童のパーソナルスペースの確保や、個別活動活動対応の部屋の確保ができています。また活動内容により場所を分ける、児童の自席の距離感等を保てるような空間作りを行っています。	・限られた空間の中で児童の状況によりできる限りの環境を整えているが、スペースの制限があり運動時の児童の動きの制限や、仕切りの薄さで周囲の刺激を完全に遮断できない等を感じることもあるため、今後も環境設定の思案は必要である。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・個別対応児童とその他の児童の支援を十分に行えるように職員配置を行っている。	・ニーズにより個別対応児童の人数が多くなると、全ての児童にまで支援が行き届いていないと感じる時があるため、職員配置を検討する必要があると感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリー化はできており、児童が見通しをもって行動できるようスケジュールボードや準備ボードなど、各自の様子に合わせた視覚支援や、簡易的な衝立を活用し、集中しやすい環境作りを行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・教室前に掃除を行っている。また教室後にも自席や玩具、送迎車等使用した場所の消毒も行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・クールダウンや個別活動の部屋の確保、また児童の様子に合わせて宿題の際に集団とは別空間を確保し、集中しやすい環境を作っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・個別支援会議の際に職員と各児童の様子を共有し、児童の様子やニーズに応じた目標設定を行っている。また常時カンファレンスで共有を図り、必要に応じてケースカンファレンスの時間を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者様から頂いた意見を今後の運営や支援に活かせるよう検討している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・年数回の職員会議や管理者との個別での面談を設け、職員の意見を聞く機会を設けている。またスラックを活用し各職員が管理者に直接相談できる体制を整えている。 ・日々のカンファレンス等日頃から気軽に話ができる環境作りをおこない、職員が意見を伝えやすいようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・第三者による外部評価は実施していないが、必要に応じて設けたいと考えている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・各職員年に1回以上の外部研修に参加している。また法人内研修の参加や内部研修の実施も行っており、日々、資質向上を図っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	・各児童や各クラスに応じた支援プログラムを思案、作成している。	・現在作成中であるため、早期に公表する。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	○		・計画更新時に児童や保護者のニーズの確認し、検査結果や日々の様子等からアセスメントした内容を踏まえた計画作成に努めている。	・まだ十分に把握できていない時もあると感じるため、各専門職の視点を踏まえたアセスメントの共有などを今後検討する。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・計画作成時の会議では児童やご家族のニーズの共有、また各職員からの日々の支援の様子等を踏まえた意見交換をしている。また作成した計画書を再度職員に閲覧し、内容の確認を行っている。	・非常勤職員等時間の制限がある職員の会議参加が難しい状況でもあるため、会議の時間設定や全職員から意見を聞く方法等の検討を行う。
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画作成時に職員と共有を図っている。またそれを基に日々の支援プログラムを作成、実施している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・日々の行動観察についてはケース記録に記載、また自傷行為等の行動がみられる児童については支援検討のために行動観察表を作成している。	・各職員共通のアセスメントを活用していないため、今後検討し共有を図る。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・包括的な支援を行えるような支援目標の設定を行うように努めている。	・家族支援や移行支援及び地域支援・地域連携はまだ十分に組み立てていないと感じているため、今後支援の充実を図るよう職員間で検討する。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・日々の活動や個別活動は各主指導や担当職員が立案することが多いが、日々相談や共有できる環境を作り必要に応じて意見交換をしながら立案している。また、イベント等の立案については職員間で話し合い決定している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・日々の活動内容は児童の様子や季節の行事等を踏まえ参考本やネット等で情報収集を行いながら立案している。また毎月行う活動でも課題内容等の変更を行い固定化しないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	○		・個別活動や集団活動、またペア活動や小グループ活動等、児童の目標に合わせた支援を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・教室前には事前カンファレンスを行い、内容確認や児童の様子について共有を図る。特に前回の様子や保護者からの連絡で共有事項がある児童については観察点や支援方法を確認し支援に繋げている。	・休日等の支援日には対応職員全員でのカンファレンスが行えていないことも多い状況である。個別的な伝達や書面等で共有を図っているが不十分な点もあるため、検討が必要だと感じる。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	・事後カンファレンスの時間をその日に設けることは難しいため、児童の様子で気になったこと等の共有事項はケース記録への記載や翌日の出勤の際、また次回の利用時の事前カンファレンスで共有できるようにしている。また、各個人間では相談し合うことはできるため、児童の様子や支援での疑問点などの意見交換を行っている。	・ケース記録記載や各カンファレンスで日々の共有を図っているが、非常勤職員や公休の職員等その日に出勤していない職員への伝達ができていない時があるため、全職員が共有できる方法の検討は必要だと感じる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・記録に関してはPDCAサイクルの考え方を参考にし、目標に対しての支援内容や気になる点の分析等の内容を記載しており、カンファレンス等で様子の共有、支援の検討等を実施している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・6か月ごとの見直しを基本としているが、児童の様子や保護者から伺った話などを基に見直し時期を変更し対応している。	
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		・日々の活動に取りいれている。また土・祝、長期休み等を活用し、地域の方との交流や、外出体験、クッキング、個々に様々な表現ができる製作活動等を立案している。	
25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・児童の発達年齢に応じ、活動内容の決定、役割分担等自分達で話し合いや思案を行い自己決定ができる場を設定している。また児童の思いを引き出すために絵カード等のアイテムの活用や、選択肢の提示などの支援を行っている。		
関	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・適切に状況を伝達できるよう、日々支援に関わっている現場職員や児発管等が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・児童の担当相談員や児童の在幼保学校とは、児童の様子を電話や送迎の際、また会議等で連携を図っていることはある。	・まだ十分に連携が取れていないため、他事業所の取り組みを参考に検討する。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		・現時点ではできていない状況である。今後支援向上のために連携等の方法を検討する。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	・地域の公園等への外出で地域の子ども達と触れ合う機会を設けている。	・特定の機関との交流については現在できていない。他事業所の取り組みを参考に検討する。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・日々の活動の様子を写真を交えてアプリで配信している。送迎の際や連絡配信の際には気になる様子や成長を感じた点等もお伝えしている。また保護者からもご家庭や学校での様子等を電話やアプリ、送迎時にお教えいただけるよう伝えており、児童の様子や支援を共有できるようにしている。	・まだ十分にできていないと感じているため、随時保護者からの意見を伺いつつ、情報を共有できるようにする。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・ご家族からの要望や児童の様子等により面談を行い、事業所での様子や踏まえたお子様への関わり方やご家庭での取り組みをお伝えしている。	・研修案内や研修の機会は設けられていないため、研修等の情報案内や、保護者の意見を伺いながら事業所内での保護者研修を検討する。

関係機関や保護者との連携	32	【 児発事業所・児発センターのみ 】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・児童の在園先に訪問した際に支援内容の伝達を行い情報共有を行った。 ・保護者を通じて在園先の様子や事業所での様子を共有している。	・継続的な取り組みはできていない状況や直接情報共有等が図れていない状況であるため、関係機関にも伺いながら実施に向け検討をする。
	33	【 児発事業所・児発センターのみ 】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・事業所での支援内容を記載した引継ぎ資料を作成し保護者にお渡ししている。	・就学先の機関と直接情報共有はできていない状況であるため、連携方法等を検討する必要があると感じる。
	34	【 児発センターのみ 】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	35	【 児発センターのみ 】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	36	【 児発センターのみ 】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	37	【 放デイのみ 】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○	・年度初めに通所児童の送迎予定等の一覧を各学校に送信し、学校からも送迎時のルール等は伺っている。行事予定は保護者から頂いた予定表や各学校のHPで確認し下校時刻の確認等に不備がないようにしている。トラブルがあった際にもその都度、保護者や学校と連絡を図り対応している。	
	38	【 放デイのみ 】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	・保護者から児童の様子を伺うことや、検査結果や引継ぎシートを頂いている。	・直接関係機関と情報共有をしていない状況であるため、関係機関にも伺いながら情報共有を検討する。
	39	【 放デイのみ 】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・開所時から現在まで対象児童はいなかったため行っていない。
	40	【 放デイのみ 】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○	・市内の自立支援協議会や西播磨地域の関係機関の会議等に参加している。	
	保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・契約時に保護者への説明を行っている。また保護者から確認があった際には、その都度説明を行っている。
42		児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・モニタリング時のニーズの確認や日々の関わりの中で児童から思いを引き出す機会を設けている。上手く表現できない児童に関しては、児童の様子から思いを汲み取れるよう関わっている。	
43		「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	・計画作成時には書類を提示しながら具体的に説明を行い、保護者の意向を確認した上で同意を得ている。	
44		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	・モニタリング時に保護者から家庭での様子を伺い悩み等を伺った際には事業所での支援を踏まえたご家庭での取り組みを伝達している。児童や保護者の様子で気になることがあった時には事業所から連絡を行い、保護者が相談しやすい環境を作るために日頃から送迎時や連絡アプリを活用してやりとりを行っている。	・普段から関わり少ない保護者もいるため、今後も保護者との関係性作りを行えるよう努める。
45		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	・親子参加型のイベントを開催しておりその中では保護者同士やきょうだい同士の交流の機会を設けている。	・保護者会等は設けていないため、保護者の意向を確認しながら検討する。
46		こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	・苦情相談窓口の情報を重要事項説明書内に記載し、契約の際に伝達している。また保護者案内文送信の際にも不明点があった際の連絡を案内しており、苦情等を伺った時には迅速かつ適切に対応し、必要に応じて全保護者に改善点を案内している。	
47		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	・連絡アプリを活用し活動概要や行事予定、その他案内文、また利用時の様子を各保護者に配信している。またInstagramでの配信や法人の機関紙発行で様々な方に事業所の様子を見ていただけるようにしている。	
48		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・個人情報の取り扱いについては十分配慮しており、写真掲載等を行う際にはその都度保護者に確認を行っている。相談支援事業所やその他関係機関との連携のための取り扱いにも事前に同意を得ており、事業所内の書類やデータ管理も行っている。	

	49	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・児童には視覚的ツール等、各児童に応じた支援を活用している。保護者への伝達の際にも案内文等を作成し適切に情報を伝達できるように努めている。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・法人内の高齢施設の方とのイベントの開催や、地域の畑に行き農作物に触れる機会を作っている。	
	51	<u>【放デイのみ】</u> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者から相談事を受けた際には面談等で迅速に対応し、事業所での取り組みや児童の発達段階を踏まえた家庭での関わり方等を保護者の気持ちに寄り添いながら一緒に考えている。	
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルを策定しており、全職員がいつでも確認できるようファイリングしている。各訓練も職員間や児童と共に実施しており、感染症時や警報発生時の対応等を保護者に配信、随時見直しを行っている。	・全てのマニュアルを保護者が閲覧できるような体制はできていないと感じるため、今後閲覧できる手段を検討する。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを策定し、職員間で研修、訓練を実施、非常事態に備え備品の確認も行い、必要な物品の購入を行い備蓄している。	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に病歴やてんかん発作やアレルギーの有無を確認している。緊急時に迅速に対応できるよう、対応を要する児童の一覧を作成し支援場所等必要な場所に置いている。	・予防接種の確認は行っていないため、職員間で検討し必要な際には保護者に確認を行う。
	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		・現在医師の指示書が必要な児童は在所していないため、対応できていない状況であるが、今後事例が発生した際には適宜実施する。場合により、法人内の嘱託医や管理栄養士への相談も検討する。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・年間計画を作成し、設備等の安全点検や各種研修や訓練等を実施し、安全管理を行いながら支援を行っている。	
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	・児童と実施した訓練等は保護者に配信している。	・まだ十分に周知できていないと感じるため今後保護者への周知方法を検討する。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット事案が起こった際には、状況等を具体的に記載し全職員で閲覧後ファイリングしている。報告時には再発防止のための取り組みも記載し、同様の事案に繋がらないよう対応方法を検討している。	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・全職員対象に研修を実施し、虐待防止の理解を深めている。また、日頃からOJTでの共通認識をもって支援を行っている。	
60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・やむを得ず身体拘束を行う場合には事前に保護者に同意を得た上で計画に記載、対応児にはその都度保護者へ報告することを職員間で周知している。また児童の対応方法を職員間で検討し適切な支援に努めている。		